

Magazine for everyone who loves SUISEI Inc.

4

月刊・辺境

・巻頭特集・

AI×ホテルの最前線
— 水星らしきAIとの向き合い方を考える

カバーガール/占い館がスト
佐々木みいむ

・定番連載・

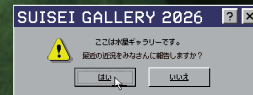
マダム・モーハの

占い館

スナック
えなり

リニューアル復活!
BAR
やりこみ

SUISEI
図書館



月刊・辺境

発行元: 水星
発行日: 2026.3.20

AI × ホテルの最前線 - 水星らしい AI との向き合い方を考える -

日々、AIに関するニュースが飛び交う中、水星ではAIとどのように向き合っていくと良いのでしょうか？

今回の座談会では、一見AIとやや距離のある「ホスピタリティ」や「クリエイティブ」を生業とする私たちが、水星らしいAIとの付き合い方を考えるために企画しました。

経営企画室でホテルのDXを担当する中村さん、組織づくりを考える人事企画の今庄さん、ホテルのブランドやチームづくりに取り組む岸さんをゲストに迎え、経営企画 広報担当の金井塚の司会でお届けします。

ホテル業界 × AI の現在地。 ゲストの旅は Google 検索から AI 相談へ。

金井塚：
皆さん、本日はありがとうございます。
今回のテーマは「水星らしいAI活用」です。
私自身、ChatGPTなどのツールは日常的
に使っていますが、まだ十分に活用しき
れているとは言えません。日々AIの進化
に関するニュースを目にしますが、ホテ
ル業界ではどのような変化が起きている
のでしょうか？

岸：
現場で働くメンバーの視点では、いきなり「仕事でAIを活用しよう」と言われても、戸惑いがあるのが正直なところだと思います。ホテルの業務は、チェックイン対応や清掃、カフェ運営などフィジカルなものが中心なので、AIはやや距離のある存在に感じられます。一方で、ゲストのホテル探しの行動は確実に変わってきています。実際に「AIにおすすめのホテルを相談して、HOTEL SHE, KYOTO にたどり着いた」という海外ゲストもいらっしゃいました。「AI活用」と聞くと業務効率化に目が向き

がちですが、ホテルで働く人たちがむしろ今考えるべきは、カスタマージャーニーの変化ではないかと感じています。

中村：
従来のSEO、つまり「Google検索で上位に表示されること」が重要だった時代は、終わりを迎えつつあります。今の感度の高い海外ゲストは、もはやキーワード検索ではなく、AIに「相談」しています。

今庄：
まさに、「検索」から「相談」へのシフトですね。

岸：
先日、CHILLNNの武井さんからAIO(※1)についてお話を伺う機会がありました。宿泊先をAIに相談して決めるのが主流になるとすれば、私たちの情報発信のあり方も変えていく必要があります。実際、HOTEL SHE, の公式サイトも、こうした流れに対応するためのリニューアルプロジェクトが進んでいます。

(※1)AI Optimization (AI最適化)：コンテンツをAIアルゴリズムが学習しやすいように最適化すること

中村：
これからは、AIという「信頼できる個人

パートナー」が旅程を組み、予約まで完結させる時代になると言われています。このAIOの世界では、情報の「量」ではなく「構造」が重要になります。そのため現在、水星のWebサイトもAIが正しく情報を読み取れるよう、「構造化データ」への対応を進めています。

岸：
AIOでは、他にはない「独自性」をAIが明確に言語化できることが重要だと聞きます。従来のSEOでは規模や資本で劣る部分もありましたが、AIOの時代は水星の強みを活かせる可能性が高い。だからこそ、今のうちからこの流れに乗る必要があると感

効率化で生まれる 余白を、本質的な 価値に向き合う時間へ

金井塚：
まさにゲームチェンジですね。今庄さん、人事の視点からはどう見えていますか？「将来、人間の仕事はAIに置き換わる」という話もありますが、ホテルの現場ではどう向き合うべきで

しょうか。

今庄：
あるアメリカのホテルの事例では、ゲストはAIにリクエストをすることで室温等の客室内環境をコントロールするだけでなく、タオルやアメニティの提供のリクエストを行うことが出来ます。最初の返信はすべてAIが対応しますが、実際に部屋を訪れ、ゲストの目を見て「お待たせしました」と手渡す、そのラストワンマイルは人間が担っています。

▼ホテル事業部でのAI活用の事例：レビュー返信の半自動化
(この画像は社外秘なので取り扱いにはご注意ください！)

【日本語】この入力されるレビューに対して、指示と知識を参照し、日本語で返信を作成してください。【GPTの生成フローのルール】チャットに上げられたテキスト、またはテキストを基にした文章からレビュー内容を正確に読み取り、レビューは最善のことを行なう。一語一句正確に読み取ってください。またレビューには評価項目ごとの点数が含まれていることがありますが、それについては返信の中で言及してはいけません。

レビュー内容をお送りいただけましたら、心を込めて返信文を作成いたします。

👍 🗨️ 🔄



この画像はHOTEL SHE, OSAKAにご宿泊いただき、またこのような素晴らしいレビューをお寄せいただき感謝いたします。

外観や内装、そしてサービス面に至るまでご滞在を通して心地よく過ごさしいただけた様子を探直し、大変嬉しく思っております。また、周辺環境についても具体的に触れていただき、弁天町という街の魅力を感

中村：「初期対応はAI、ホスピタリティは人間」という分担は理想的ですね。水星の現場でも、レビュー返信の自動化はインパクトが大きかったと思います。が、まさしく、最初のたたき台までをAI、そこに「そのホテルらしさ」を加えるのは人間、という分担が確立されています。

今庄：ただ、ここには大きな「ジレンマ」もあると社会的に課題視されています。AIがエントリーレベルの仕事、つまり「レビュー返信のドラフト作成」や「定型の案内」を完璧にこなしてしまうことで、新人が試行錯誤を重ねながら経験を積んだり、その組織の仕事のやり方や価値観を学ぶという「打席」が失われているんです。

岸：昔は、とにかく手を動かしてルーティン業務に取り組む中で、水星らしい振る舞いや言葉を体に染み込ませてきました。そのプロセスがショートカットされることで、新入社員の方がカルチャーを学

ぶ機会が減る懸念はありますね。

今庄：そうなんです。だからこそ、「評価の軸」をアップデートする必要があるかもしれません。これまでは「社員自身が速く正確に対応できること」が評価されていましたが、AIが業務の随所に介在するこれからの時代は「AIが出したドラフトを、どう自分らしく、あるいはそのゲストのためだけにパーソナライズさせたか」を評価に組み込まないといけないかもしれない。AIを使って業務を行うことは当然で、AIを使いこなした上で、その先にある「人間にしかできない余白の埋め方」を競うフェーズに入ったんだと思います。

中村：マネーフォワードさんの、「組織に100人のAI推進部隊を置く一方で、各現場にはそれを橋渡しする伝道師を配置する」という事例も参考になります。全員が技術のプロになる必要はありませんが、技術についてリテラシーを持っていることで、人間にしかできない本質的な価値と向き合うことが出来るのではないかと思います。「このツールを使えば、本来自分がやりたかった『目の前のゲストを喜ばせること』にもっと時間を使えるんだ」と理解し、AIを相棒にできるメンバーを育てていきたいですね。

人間が答えを出すプロセスが、AIの100点の正解を超える。

金井塚：これまでのお話を聞いて、AIが増えれば増えるほど、逆に「人間にしかできないこと」の価値がどんどん上がっていきと感じました。

今庄：ホテルなどサービス業界の中でのAI活用を考える上で、重要な視点だと思います。例えば、冒頭で話題になったゲストが宿泊するホテルを探す方法が変わるという話でも、論理的な回答を導き出すだけならAIに聞く方が圧倒的に早いです。が、ゲストが求めているのは必ずしもそうとはかぎらない。誰かに相談した時、AIが出した100点満点の正解よりも、一緒に悩み、考え、泥臭く対話を重ねた人間が言う「こっちにしましょう」という言葉に

こそ、価値を感じることもあると思います。対話をする「プロセス」こそが価値になるんです。

岸：まさに。ホテル開発のプロセスでいうと、「かっこいいハード」を考えるための議論はある程度AIでも参加できるかもしれませんが、でも、それを「ソフト」に落とし込んでいく作業、つまり



その土地の「テロワール」をどう解釈し、五感に訴える体験にするかというプロセスは、極めて身体的な作業だと思っています。この五感を使ったクリエイティブは、AIには代替できません。

金井塚：

ブランドの根幹にあるのは、往々にして、支配人やスタッフの「人格」と偏愛に満ちたこだわりです。AIが「そんな無駄ですよ」と笑うようなことに、どれだけ全力で取り組めるか。それが、AIをフル活用して効率的に作られたホテルにはない、水星だけの強みになる気がしました。

今庄：

中村さんのような技術的な素養があるAIスペシャリストと、岸さんのようなAIに扱えない領域の感覚・感性がある人、その橋渡しをする素養はあまりなくても日常業務の中でAI活用を試行錯誤している人が共存している組織が理想であるといえますね。

中村：

今回の対談を通して、日常でAIを活用して業務の効率化を進めていくことはもちろんですが、改めて、自分たちの仕事の中で「AIには出来ないこと」を考えてみても面白いと思いました。技術への知識が少ない中で、「AIを活用できるポイント」から考えると迷子になるけど、「これは、絶対AIには出来ない」という自分たちの本質的な価値の部分はクリアに考えやすいなと。

岸：確かにそうですね。「AIに出来ること」「AIに出来ないこと」を整理することが、ホテルの現場での水星らしいAI活用の第一歩になる気がします。一緒にやっていきましょう。

－社内報編集部より－

この記事を読み終えた今、あなたの目の前にある「仕事」は、少しだけ違って見えていないでしょうか。

効率化というAIの追い風を受けながら、私たちは、より深く、より狂気を持って、人間にしかできない領域へと飛び込んでいく。それは、自分自身のアイデンティティを再定義する、とてもエキサイティングな旅です。

最後に、あなたに問います。

「あなたの日々の業務の中で、どうしてもAI化できない、自分だけのこだわりは何ですか？」

その小さな、けれど強固な「こだわり」を、ぜひ大切に育ててください。それこそが、水星が未来を切り拓くための、最も強力なエンジンになるのです。



月刊
一辺境

BAR やり込み

水星タウンの某所・某日。月に一夜だけオープンするその店の看板が静かに架け替えられた。「BAR やり込み」、ここは、何かに魂を燃やし、どこまでもマニアックに世界を深掘りする「やり込み人」たちが夜な夜な集う場所。

二代目マスターとして初めてカウンターに立つ今庄マスターが差し出す極上の一杯と共に、今宵のゲストのやり込みを心ゆくまで深掘りしていこう。

今庄：いらっしゃいませ、高見さん。

高見：こんばんは。リニューアルオープンおめでとございます！新しい店名「やり込み」…なんだか気が合いが入りますね。

今庄：ありがとうございます！高見さんのやり込みについて伺えるのが楽しみです。まずは一杯飲みましょう。今日は何をお作りしますか？

高見：実は最近、お酒を減らしてまして……

今庄：禁酒！いきなり、健康へのやり込みですね。

高見：…ということで、今日はお茶でお願いできますか。できれば珍しいものがいいな。

今庄：かしこまりました。では、「バーやり込み」記念すべき1人目のゲストを祝して、台湾・高山地帯で採れる最高級の「高山ウーロン茶」をお出ししますね。寒暖差と霧により生まれる濃厚な旨味と、蘭のような華やかな香りをお楽しみください。……どうぞ。

高見：ありがとうございます。おお、香りがすごい。頭も冴えて数時間は喋れそうです（笑）

今庄：気に入っていただけてよかったです！では、今日もお仕事お疲れ様でした（乾杯！）さて、高見さんといえば、金井塚さんと並んで社内屈指の、多趣味かつそれぞれが異常に深い人という印象があります。最近、特にアンテナに引っかかっているものはありますか？

高見：最近、これ！という特定のものがあるというよりは、常にアンテナを広げて引っかかってきたものを片っ端から取り入れて、自分の中にストックしてい

る感じです。でも結局は最終的に「ホテル周り」のアイデアに収斂していているような気がします。街歩きや建築、美術館巡りは、相変わらずずっと好きですわね。

今庄：プロデューサーの仕事にも直結しそうですね。「ホテルプロデューサーの休日」のnote記事も読みました。

高見：そういえば最近、その関心の対象が少し変わってきたんです。以前は、ヨーロッパの歴史的建造物とかシンガポール、香港といった、いわゆる都市部の派手な場所に注目がちでしたが、最近は、国内地方都市のまだ発掘されていない魅力ある場所に惹かれていて。

今庄：なるほど。「地方の知られざる名建築」みたいなものですか？

高見：そうですね。地場の建築家さんのものもあれば、有名な建築家さんだけけど「こんな地方でも作品を残してたんだ！」という発見もあって。だから、最近の行き先は「まだ行ったことのない都道府県」になりがちで、先月は茨城の水戸に行きました。水戸芸術館で開催されていた磯崎新さんの企画展が目的でした。水戸芸術館のシンボルの存在となっているタワーを建築された方で、もちろんずっと存じ上げてはいたものの、水戸ってなかなか行く機会がないので見に行けていなかったで、都内に行ったついでに立ち寄りうと思っ

今庄：都内から水戸って「ついで」で行ける距離でしたっけ（笑）

高見：それが、全然「ついで」じゃなかったんです…特急を使っても片道1時間半から2時間弱、往復で4

時間ですよ。東京の友達にも「ついでに寄った」って言ったら「いや、遠いよ」って驚かれました。でも、実際に行ってみると、あのクネクネした塔の造形とか広場の空気感とか、本当に感動しましたね。ついででなくてもわざわざ行く価値は間違いなくありました！

今庄：美術館がお好きとのことですが、そもそも高見さんは「建築」から入ったのですか？それとも「芸術」から？

高見：どちらかというとなら建築が先です。父親の仕事の関係で子供の頃に台北に住んでいたり長期休みにシンガポールやバンコクへ行ったりする中で、日本と全く違うスケールや色彩の海外建築が面白くて、「なんでこんなに違うんだろう」と子供ながらに思っていました。

今庄：建築の中でも美術館がお好きなのはなぜですか？

高見：建築って、住宅とかオフィスとか色々ありますが、一般の人が内部まで自由に探索できる場所って意外と少ないんですよ。住宅は勝手に入れないし、大きなビルも用事がないと上まで行けない。そうすると、公共性があるって誰でも入れて、かつ建築家の思想が色

濃く反映された「カッコいい」空間を堪能できるのは、やっぱり美術館なんですよな。

今庄：なるほど、すぐく腑に落ちました。そして、我々一般人だったらただ眺めるだけのところを、高見さんの場合はもっと背景を深掘りする、と。まさにそこがやり込みポイントですね。

高見：何も知らずに見ると、設計者の意図や時代背景を勉強してから見るのでは、脳内での解像度が全く違うんです。現代アートも「なんでこれが数億円もするの？」って直感的には分からなくても、解説や文脈を学ぶと「なるほど、この概念の転換が重要なのか！」って納得する。その「知識を得て、体験を上書きするサイクル」に、完全に入っちゃってますね。

今庄：そのサイクルで、最近新しく回し始めたものはありますか？

高見：最近「日記本」。他人の日記をまとめた本にハマっています。普通の人の何でもない普通の人生を垣間見るのが面白くて。もちろん有名な破天荒なものも面白いですよ。例えば「獄中記」みたいな極限状態の記録とか、南極調査に行く人の半年間の孤独な記録とか。でも最近は、地方に住んでいる同世代の人が

ゲスト
高見 将大

マスター
今庄 湧希

本日の一杯



高見さん禁酒中のため
高山烏龍茶

「今日、仕事でこんなことがあって疲れた」って淡々と綴っているような、アマチュアが自主出版したような日記本を読み漁っています。

今庄：なんとまたニッチな分野にやり込んでますね。それは具体的にどういう楽しみ方をするんですか？

高見：地方都市の Airbnb に泊まる感覚に近いかもしれません。自分とは別のエリアに住んでいる同時代の人の平日と休日のルーティンに、「あ、この人も同じ YouTube 動画見てるんだな」という共通点を見つけたり、街の景色の描写からその土地の空気感を感じたり。下北沢にある「日記屋 月日」っていう日記本専門の本屋さんが出している、350 ページ超えの「季刊日記」っていう分厚い雑誌がまた最高なんですよ。

今庄：350 ページ超え…それはやり込みがいがありますね。高見さん自身も日記を書かれてるんですか？

高見：はい、去年 1 年間毎日書き続けました。最初は気合を入れてポリューミーに書いてたんですけど、それこそ日記本を読み込むうちに「3 行で終わる日があってもいい。むしろその方がリアリティがある」って気づいて。その方が逆に読み返した時に当時の感情

がフラッシュバックしやすいんです。完成度より「出すこと、続けること」を優先してラフにやりました。今のところ誰にも見せませんが（笑）ポッドキャストもそうですけど、大学時代くらいから、面白いと思ったことや学んだことを興味を持ってくれる人に話すのがルーティンになってます。推戴しすぎずにラフに世に出す。仕事じゃないから「伝わればいいや」くらいのスタンスの方が心地いいんです。

今庄：アウトプットだけでなく、インプットやネタ集めにもやり込んでますよね。その膨大な量のインプットやネタをどうやって管理されてるんですか？

高見：1 つは、スマホに、自分専用の Discord サーバーを作って、テーマごとにチャンネルを細かく立てて、気になった画像やメモをどんどん放り込んでます。Discord ならファイル容量も気にしなくていいし、X のいいね欄やカメラルールみたいに他の情報と混ぜて埋もれないのが Discord の最大の利点です。

今庄：Discord か！アカウントだけ作って使ったことなかったですわ…ちなみに、どんなチャンネルがあるのかいくつか教えてもらってもいいですか？

高見：えっと、「変な地図」「世界のプールの写真」「街に貼られているポスターの写真」「離陸直後の飛行機の窓から撮った風景」「胡散臭くておしゃれなおじさんのファッション」「ホテルをテーマにした映画」「マウスウォッシュの正解」「和室の空間アイデア」「縁起物」……まだまだありますがどこで止めたらいいでしょう（笑）

今庄：……十分伝わったのでこの辺りで大丈夫です（笑）どれも絶妙にマニアックなラインで面白い、そのネタはどうやって発掘してくるんですか？

高見：ネットでの検索と実際の街歩きが半々ですね。「街のポスター」は韓国のソウルに行った時、A3 プリントのポスターをズラッと交互に貼っているのを見て「超かっていい！これ、日本の物件でも応用できるな」って思って、集め始めました。逆に「地図」は Twitter です。1 つのテーマを深く掘ると、アルゴリズムが最適化されて、自分のタイムラインにどんどん面白い「変な地図」が流れてくるようになります。

今庄：アルゴリズムを自分で調教して情報収集を自動化してるわけですね。テーマやネタを見つけること自体にもやり込んでいるのか。

高見：まさに。自分の中で、雑誌のミニコラムを誰にも見せずに 1 人で連載しているような感覚です。同じテーマを 10 個くらい集めると、共通の傾向や小さな違いが見えてきて「あ、これありかも」って自分の中の基準ができるんです。これを数年続けていると、自分の中に「引き出し」が膨大に溜まっていく。社内だと、金井塚さんやナイルさん、花岡さんなんかも、そういう自分だけの「深さ」を持っていますよね。

今庄：誰かと一緒に協力して集めたりはしないんですか？

高見：気楽に続けることが大事なので、完全に 1 人派ですね。例えば「離陸直後の風景」を社内のみんなから集めれば、もっとバリエーション豊かなコレクションになるとは思うんですけど、あえてそうはせず、粛々と 1 人で楽しむ。誰の目も気にせず、自分の「好き」を磨き上げる。これが私の「やり込み」の本質なのかもしれません。

今庄：その「好き」の引き出しも Discord のチャンネルも、これからますます増えていきそうですね。

高見：Discord のサーバーに私の年輪が刻まれていく…もし Discord が明日サービス終了したら、私の人生の半分くらいが終わる気持ちになりそうです（笑）でも、苦痛なく続けられるこの情報収集が、いつか仕事の「深み」や「ユニークさ」として繋がればいいなどは、どこかで思っています。

今庄：いやあ、初回から凄まじい「やり込み」を聞かせていただきました。

高見：ちなみに、今庄さんは最近何にやり込まれてるんですか？筋トレ？

今庄：筋トレは最近ちょっとお休み中なんですけど（笑）、ロック・メタルの音楽鑑賞を改めてやり直しています。どちらも昔からずっと好きで、Spotify の年末まとめでは「世界のリスナーの上位 0.005%」に入るくらい聴き込んだでしょうもないダサイメタルバンドがあるような感じなんですけど（注釈：メタルでダサイは誉め言葉です。）、最近、ふと Gemini (AI) に「最近のメタルトレンド教えて」って聞いてみたくです。そしたら、僕が知らなかっただけで、ここ数年でジャンルの傾向が大きく変わっていることが判明しました。僕が好きで聞いてたジャンルの中に、僕が好きな

BAR やり込み

スタイルのをやってるバンドがほとんどいなくなってるらしくて、探索の旅に出ることにしました。

高見：それはまた、メタルの膨大な探索の旅が始まりますね。

今庄：そうなんです。自分のアルゴリズムや記憶の中だけでは届いていなかった世界が、少し角度を変えて質問するだけで一気に広がった。

高見：いつかこのバーで最新のメタルが流れる日も来るのでしょうか（笑）

今庄：……それは、雰囲気ぶち壊してお客さんが来てくれなくなりそうなので、遠慮しておきます（笑）さて、あつという間に閉店の時間です。最後に「バーやり込み」の次回ゲストを指名していただけますか。

高見：そうですね……小林実可子さんで！普段何を考えてどんなニッチなものをどうやり込んでおられるのか、個人的にすごく知りたいです。

今庄マスター：実可子さん！それはまた、高見さんとは違ったベクトルで深い話になりそうで楽しみです。高見さん、今日は本当にありがとうございました。

高見：こちらこそ。今日は帰り道に特大の面白い写真が撮れそうな予感があります。ありがとうございました！

というわけで、新「BAR やり込み」の第一夜はこれにてお開き。趣味という名の年輪を Discord に刻み続ける高見さんの話は、日常の何気ない記録の積み重ねが、いつか誰にも真似できない人生の「深み」を作るのだと教えてくれた気がします。今庄マスターは、メタルの最新トレンドをどこまで掘り下げられるのか。では、次なるやり込みの深淵で、またお会いしましょう。



▲ 水戸芸術館



経営企画



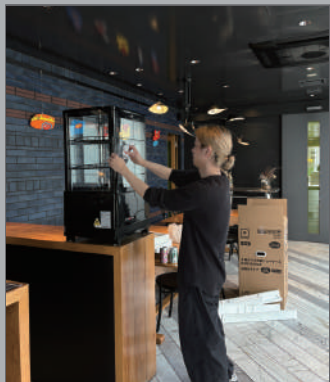
KYOTO



OSAKA

OSAKA

大阪モクラフトビールの冷蔵庫がきましたよ!!!



香林居

香林居同期によるベッドメイク対決!



PRODUCE

寺内さんの手組のポテンシャルを力説する前田さん



KUMOI



香林居

経営企画

ネタ切れ(写真とられ待ち)



SUISEI GALLERY 2026



ここは水星ギャラリーです。
最近の近況をみなさんに報告しますか?

はい

いいえ



CHILLNN

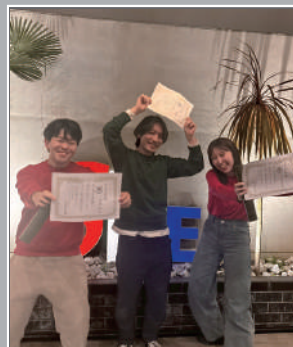
CHILLNN

インターンの中島くん初出社日!そしてランチ



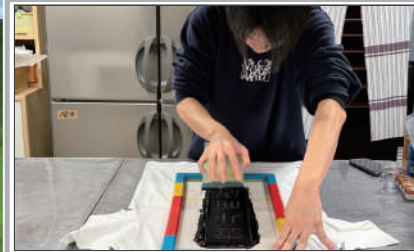
インタメ

シリーズ3年完走、お疲れ様でした!



KUMOI

層雲峡にも登場!シルクスクリーンお兄さん



インタメ



PRODUCE



水星図書館へようこそ。

水星で働く私たちが日々の仕事や旅、暮らしの中で出会った本を紹介する選書コーナー。ビジネス書や小説、エッセイ、アートブックまで、ジャンル問わず「いま誰かに読めたい一冊」をピックアップ。あなたの心に、新しい景色を届ける本と出会えますように。

本日のゲスト

瀬戸 清楓さん

1.

New York
Design Strategies
for Japanese Business:
Winning in the Global Market

ニューヨークの
アートディレクターがいま、
日本のビジネスリーダーに
伝えたいこと

世界に通用するデザイン経営戦略

小山啓介 | 渡邊デルーカ 著

ビジネスが
うまく
いかない
のはなぜ
だろう？
モチベーションを高める
ことより大切なもの



ニューヨークのアートディレクターがいま、
日本のビジネスリーダーに伝えたいこと

小山田育 (著), 渡邊デルーカ 著

初心者にも読みやすいブランディングの本。少し古いのが、この本に大学生のころ出会い、広報・ブランディングに関わる仕事をしたと思った一冊。ブランドを人格に例えてイメージを具体化する手法など、細かな視点の学びもあった。

2.



歩く マジで人生が変わる習慣

池田光史

とにかく散歩に出かけたくなる本。健康面のメリットはもちろん、歩くことによる精神や仕事のパフォーマンスへの効果についても言及している。都市の分析や野山を歩く体験談も載っている「歩くこと」を多角的に学び直せる本。

3.



せつかく作るなら、一生ものの、
おいしいお菓子 決定版

小嶋ルミ

最も信頼する製菓本の本著者である小嶋ルミさんの最新レシピ本。温度管理や計量は当然ながら、ゴムベラの角度や回す早さについてもこれ以上なく細かく書かれている。このレシピ通りにやって失敗できたら奇跡と思う。

幅広いジャンルの本をご紹介いただきましたが、やはり、2冊目の「歩く マジで人生が変わる習慣」が推しですね。内容は一切読んでいませんが、全面的に内容を支持しています。



Suisei Friends

profile

-わたしの基本情報-

わたしの名前は 原 梨菜 。

2001年10月22日生まれの21歳。

血液型はO型でみんなから原ちゃんって呼ばれてるよ。休みの日は睡眠をしてるかな。普段はホテルスタッフのお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うと マイペース かな。よろしくね★



趣味 アートブック フェア	特技 爆睡	出身地 大阪
マイブーム 模様 替え	配属先 SHE,	

My Favorites

-わたしの好きなもの-



食べもの 夕飯オカ	場所 家	ホテル SHE,
音楽 chelmico	本・雑誌 益田三リ	映画 "グーストワールド"
色 赤	お店 exodus	有名人 chelmico

MY ここに好きなテーマを入れてね

BIG BABY ICE CREAM BEST 3

- No.1 梅もち
- No.2 チョコミト
- No.3 ホワイトチョコマカダミア

MY fave talk

★わたしの推しトーク★

推しの名前は?
(モノ・人・ブランドなんでも!!)
Yumiko o Saito Yuya

推しの好きなどころは?
おっしゅれ!

推しのセールスポイントは?
おっしゅれ!

Questions

-じぶんについて答えてね-

今いちばん欲しいもの FREITAGのバッグ	今いちばん行きたい場所 山
今いちばん泊まりたいホテル 香村居	今いちばんチャレンジしたいこと コラボルーム 企画
3ねん後の夢 びっかい イベントをやる	10ねん後の夢 ゆっくりする
最近の旅行の思い出 二日酔いで台湾アートブックフェアへ	学生時代の旅行の思い出 スペイン旅行

IF...!?

-タイムトラベルできるなら
いつの時代に行く?-

100年後

-あなたならどうする!?-

-なんでもひとつ能力を
持てるとしたらなに?-

時間を操作

-架空のキャラフワーを
現実世界に呼ぶなら誰?-

しらやすみの
ヒト

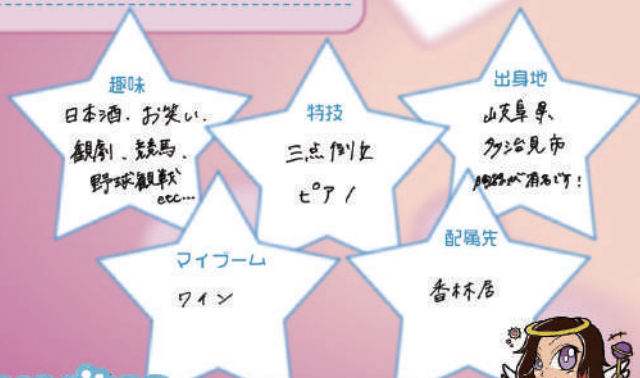


Suisei Friends

profile

-わたしの基本情報-

わたしの名前は 村松紗珠 (むらまつさ) 。
 1999年 3月 10日 生まれの25 歳。
 血液型は A型でみんなから まてい って
 呼ばれてるよ。休みの日は お出かけ
 をしてるかな。普段は 香林居ホテル運営 の
 お仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で
 言うと 大雑把 かな。よろしくね★



My Favorites

-わたしの好きなもの-

食べもの フライドポテト	場所 南禅寺 (京都)	ホテル (旅館) 加賀・山代温泉 瑠璃光
音楽 ABBA	本・雑誌 星の王子さま	映画 タイタニック
色 オレンジ、赤	お店 Soup Stock Tokyo	有名人 堺雅人さん



MY ここに好きなテーマを入れてね

日本酒

BEST 3

No.1 新炊 private labo 天麩

No.2 産工 山田錦

No.3 吉田蔵 石川門

MY fave talk

★わたしの推しトーフ★

推しの名前は?
(モノ・人・ブランドなんでも!)

石川 船越人 温野菜

推しの好きなのところは?
プライベートの関係のハウス

推しのセールスポイントは?
ダント・逃げ恥先行

Questions

-しぶんにについて答えね-

今いちばん欲しいもの
療学回復ハウス

今いちばん行きたい場所
道後温泉

今いちばん泊まりたいホテル
道後やや

今いちばんチャレンジしたいこと
金沢(石川)の歴史や文化を学ぶこと

3年後の夢
今より健康的な身体を手に入れたい!

10年後の夢
新卒のホテルに開業したい!

最近の旅行の思い出
千葉まで馬に会いに行き、月夜を噛まれた(笑)

学生時代の旅行の思い出
プロ12球団の全本拠地めぐり達成!

IF...!?

-タイムトラベルできるなら
いつの時代に行く?-
平安時代

-あなたならどうする!?-

リアルタイムで建造物を見たい!

-なんでもしつ能力を
持てるとしたらなに?-

-架空のキャラクターを
現実世界に呼ぶなら誰?-

瞬間移動

シティーハンター
冴羽獠さん

